

超党派「国民の質の高い睡眠のための取り組みを促進する議員連盟」
(略称：睡眠議連) 第6回総会が開催されました

令和8年4月14日(火)8~9時に、参議員会館第B107会議室において、超党派「国民の質の高い睡眠のための取り組みを促進する議員連盟」(略称：睡眠議連)第6回総会が開催された。古川俊治事務局長(自民、参)の進行の下、田村憲久会長(自民、衆)の挨拶に引き続き、以下のヒアリング・講演の後に意見交換がなされた。

(1)睡眠障害標榜：移動審議会での議論について

(厚生労働省 医政局 総務課長 水谷忠由氏)

(2)睡眠障害標榜の進捗について

(日本睡眠学会 理事長、久留米大学 理事長・学長 内村直尚氏)

(3)睡眠時無呼吸症候群(SAS)について

(日本睡眠学会 理事、筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構 機構長 柳沢正史氏)

水谷忠由氏は、2025年4月30日に日本睡眠学会より医政局長に提出された標榜診療科名についての要望を受けて、計3回の医道審議会医道分科会診療科名標榜部会が開催され、2026年3月6日に議論の取りまとめとして、「睡眠障害」を組み合わせで標榜可能な診療科名に追加することは適当であるとの結論が得られた経過を説明した。今後の検討スケジュールとして、パブリックコメント、医学医術に関する学術団体への意見照会を経て、2026年5月頃の改正法令の公布・施行を予定している旨が報告された。

内村理事長は、今までの経緯の説明に加えて、睡眠医療へのアクセスの向上や医療格差に対する日本睡眠学会の取り組みとして、①「標榜科推進学術交流ワーキンググループ」設立、②専門医および睡眠医療にかかわる医療者に対する質の担保、③産業保健スタッフへの睡眠知識の普及啓発、④多職種連携の強化、⑤学会準機関紙「睡眠医療ネクサス」の出版、⑥大学病院に特定地域専門医・専門施設制度を創設し、多科連携の充実、⑦47都道府県に専門医2名以上、大学病院にて専門医の育成、について具体的な活動状況を報告した。

柳沢正史理事は、睡眠時無呼吸症候群(SAS)の中等症以上で900万人という高い有病率にもかかわらず、未治療率が90%以上に及び、その社会的コストは4.5兆円と推計されることを示し、睡眠検査やCPAP治療に関する2026年度診療報酬改定を受けて、今後の在宅PSG検査の有用性、簡易型の睡眠評価装置やCPAP以外の治療法開発の可能性について紹介した。

意見交換では、三ツ林裕巳氏(自民、衆)からSASのCPAP脱落例への対応や口腔内装置治療における医科と歯科の連携について、自見はなこ氏(自民、参)からは簡便な在宅睡眠評価装置やプログラム医療機器の可能性と小児のアデノイド肥大に伴うSASを対象とした3歳児検診における睡眠評価の必要性について質問がなされ、内村理事長と柳沢理事から明快かつ建設的な見解が示された。古川元久氏(国民、衆)からは、成人検診や人間ドックにおける睡眠検査の導入が提案され、会場全体が「睡眠障害科」標榜がもたらす期待感に包まれた。

今回も、読売・毎日・日経・共同・じほう (MEDIFAX, MEDTECH) の各社が取材していた。

悲願の達成を目前にして、睡眠医療の格差是正や睡眠医療の質の担保という日本睡眠学会が果たすべき今後の重責を痛感した次第である。今後とも学会諸兄の御理解と御協力の下、活動していく方針である。

当日の出席者は、以下の通りである。(敬称略)

・睡眠議連(28名)

【衆議院】安藤たかお(自民)、市村浩一郎(維新)、尾身朝子(自民)、河野正美(自民)、小林修平(みらい)、近藤雅彦(国民)、田村憲久(自民)、鳩山二郎(自民)、古川元久(国民)、三ツ林裕巳(自民)、三原朝利(自民)〈本人出席〉、赤澤亮正(自民)、井原隆(自民)、工藤彰三(自民)、齋藤健(自民)、島村かおる(参政)、西岡吉高(国民)〈代理人出席〉

【参議院】伊藤孝恵(国民)、古賀之士(立憲)、自見はなこ(自民)、竹詰ひとし(国民)、羽田二郎(立憲)、舟山康江(国民)、古川俊治(自民)、星北斗(自民)〈本人出席〉青島健太(維新)、岩本麻奈(参政)、小川克巳(自民)〈代理人出席〉 (五十音順)

・厚生労働省(5名)

水谷忠由(医政局 総務課長)、九十九悠太(医政局 総務課 保健医療技術調整官)、中村早希(健康・生活衛生局 健康課 課長補佐)、鶴田真也(健康・生活衛生局 ガン・疾病対策課長)、海老名栄治(障害保健福祉部 精神・障害保健課長)

・サポートメンバー(3名)

大久保勉(前久留米市長、元参議院議員)、宮原禎(一般社団法人日本睡眠協会 事務局長、株式会社 ACCELStars 代表取締役 CEO)、原口敦(一般社団法人日本睡眠協会 副事務局長、株式会社 ACCELStars)

・日本睡眠学会(6名)

内村直尚(理事長、久留米大学 理事長・学長)、山寺亘(理事・事務局長、東京慈恵会医科大学精神医学講座 教授)、本多真(理事、公益財団法人神経研究所 研究部長)、八木朝子(理事、久留米大学医学部医療検査学科 准教授)、柳沢正史(理事、筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構 機構長)、上野太郎(幹事、清和病院精神科)

山寺 亘 (事務局長)